

# 長 蓮 寺 報

不自惜身命

NO.2 (平成9. 12. 7)

「不惜身命の心で稽古に励みます。」

数年前、今の横綱 貴ノ花が横綱昇進で述べた言葉です。此の言葉は、皆さんもよく御存知の通り自我偈（妙法蓮華経如来寿量品第十六）の一節より引用したものであります。貴ノ花の藤島家は法華の信者であり、私の後輩のお寺の檀家さんで子供の頃よくその後輩と遊んだそうです。


また先日、八号線を車で通っていると私の一台前の車が急に道端から飛び出してきた犬をはねてしまいました。その車はそのまま立ち去ってしまいましたがすぐ後を走っていた私はあわてて急ブレーキをかけ、その犬の寸前で止まることが出来ました。慌てて駆け寄って近づいてみると幸い命に別状はなく軽く足を打った程度でした。そのまま此処に置いておけば、又ひかれそうになると思った私は道端へ移動してやりましたが、どうしても道を渡ろうとします。困った私は車の往来を避けながら通の反対側に犬を抱えて行き離してやるとヨロヨロしながら通の土手を降りていきました。心配になった私はその犬の後をついていくと土手の下の小さい藪の中に入って行きました。なんと！その藪の中には生まれたばかりの目の見えない子犬が三匹、クンクンと泣きながら母犬の乳を飲んでいました。そうです足を怪我した母犬は子供に乳をあげるために道を渡ろうとしていたのでした。私はしばらくその光景を眺めていました。

「不自惜身命」とは“我が身を惜しむな”という意味ではありますが、両親からせつかく頂いた自分自身の命は誰にとっても一番であり大切なものです。それを犠牲にしろと言っているのではありません。先程の母犬だって好きで危険な国道を横断しようと思った訳ではなく自分が行かなければ子犬たちは飢え死にしようと思って必死になっていたのです。

「自分だけ大切」と言う気持ちを捨てて「多くの人々に役立つ自分自身」になるために勇気を持って一生懸命生きろ。というのが不自惜身命なのです。

皆様にとって平成十年が幸多き年になりますように。

合掌



## 平成10年年忌表

一周忌	平成9年	十七回忌	昭和57年	三十七回忌	昭和37年
三回忌	平成8年	二十三回忌	昭和51年	四十三回忌	昭和31年
七回忌	平成4年	二十七回忌	昭和47年	四十七回忌	昭和27年
十三回忌	昭和61年	三十三回忌	昭和41年	五十回忌	昭和24年

## 長蓮寺の基礎知識Q & A

Q：お正月に頂くお札のお飾りの仕方を教えて下さい。



門札



巻数札



守護札

お正月にお配りするお寺のお札は門札・巻数札・守護札（各お寺によって多少異なりますが長蓮寺では）の3種類あります。

よく仏壇の中にこのお札をお飾りしているお宅がありますが、基本的には**仏壇の中に貼るのは避けるべきです**。門札（戸札）は玄関よりの災厄を防ぐ意味から玄関の入り口に外に向けて貼り、巻数札・守護札は仏間や居間などに貼ります。また、お札を直に柱などに貼るのではなく、棚を設けて貼るのが望ましいとされています。（額等でもよい）

尚、上記以外のお札も同様です。（例えば、交通安全のお札や家内安全のお札等）

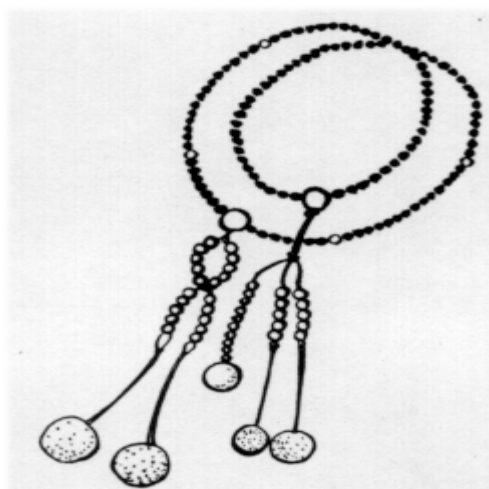


Q：念珠について教えて下さい。

念珠は数珠（じゅず）とも言い、仏教行事には欠かせないものです。

本来は数を数える道具であり、よくお題目を数えてそろばんの珠をはじくようにして数えているおばあさんをよく見かけます。

珠の数は煩惱の数とされている108個が標準であり、その半分の54個のものや3分の1の36個のものなど沢山あります。しかし



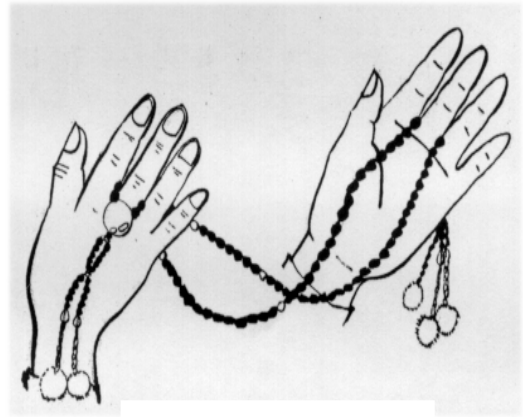
法華の数珠は特殊な形をしていて数も108より6つ多い114個で構成されています。この6つとは両端の大玉2個（お釈迦様・多寶如来様）と小玉4個（四菩薩様）のことであります。

これは両手をあわせて合掌するとちょうど私達のご本尊様と同じになるということですのでこういった形になっているということです。

念珠のかけ方は3本の房のある方を左手、2本の方を右手の中指に掛け合掌します。

数珠は宗派によって異なります。ですから本来は、その人が持っている数珠をみるとすぐに

その人が何宗か解りましたが、最近は色や材質で選ぶようになってしまっているようです。出来れば法華用の数珠をお持ちいただければ幸いです。



数珠のかけ方

## なるほど仏教語

### 挨拶（あいさつ）

「おめでとうございます。」もう1ヶ月もすると、こんな新年のごがそこそこに聞こえてきます。‘挨拶に始まり挨拶に終わる’というに挨拶とは人間関係の最も基本的な大事な行為であります。

この「あいさつ」という言葉も実は仏教の言葉。「でも挨拶は世界こにでもあるでしょ。」と言われるかもしれませんが。行為としては昔あったのでしょうがそれを「あいさつ」と呼ぶようになったのは近世ってのようです。

仏教的に言いますとと言うかお寺では師匠が弟子の成長を質問問答す事を挨拶と言っていました。漫画の『一休さん』などで問答していまがあのようなものだったと思います。

辞書で調べてみますと『挨』は開くという意味、『拶』は交わるという意味で相手とお互いふれあって交わってこそ人間関係が成り立つ。

これが本当の挨拶なのです。



今年の1月29日に待望の長女が生まれました。  
名前は沙樹（さき）と申します。  
今後とも宜しくお願いいたします。

## ◎平成十年新年会のお知らせ

1月7日午前11時より**新年会**を開きます。ご希望の方は別紙の申込用紙にご記入の上お申し込み下さい。カラオケなども用意しております、皆さんの御参加をお待ちしております。

また、毎月7日午後1時より**お経の練習会**をひらいております。参加費無料になっておりますので気軽にお越し下さい。

## ◎来年の題目講について

来年は題目講120周年の年です。その記念法要を黒瀬の本法寺様で盛大に勤修する予定ですので当長蓮寺でも檀参を組んでお参りする予定です。

また、稚児行列も致しますので皆さん沢山の参加・参列を希望します。詳細は来年2月までご報告できると思います

あとがき

○当長蓮寺の布教紙として年末に簡単なものをお願いお送り致しました。少しでも皆様の信仰の手助けにでもなれば幸いです。また私も皆さんと一緒に勉強して参り

たいと思いますのでご質問があればどんどんお寄せ下さい。

。